

仙台塩釜港中野地区(水深14m)岸壁の本体据付作業終了しました

平成25年2月14日(木)に仙台塩釜港仙台港区中野地区(水深14m)岸壁の本体据付作業が終了しました。

今回作業が終了したのは、岸壁延長300mのうち75m分で、残りは25年度以降に据付を予定しています。

当施設は、中野地区ふ頭の混雑緩和と船舶の大型化に対応するため、平成23年度に予算化されたものです。

東日本大震災の影響等により着手が遅れていましたが、平成24年6月29日に既存防波堤撤去に着手し、以降計画どおりに工事を進め、

2月12日(火)に岸壁本体となるジャケット(鋼製ステージ)1基目設置の運びとなりました。

ジャケットは三重県津市の工場で作成を行い、津港から台船に搭載し、仙台港区まで約690kmの道のりを船で運搬されました。

運ばれたジャケットは、大型起重機船(700t吊)により、あらかじめ準備された基礎杭上に据付けられました。

今回の据付作業は、仙台港区における航行船舶への影響を考慮し、夜間に実施されています。

当事務所では、引き続き平成26年度末の完成を目指し、安全第一に工事をすすめて参ります。

仙台塩釜港仙台港区では、震災による復旧段階から復興に向けての取り組みを進めています。安全で効率的な物流体系の構築により、地元産業を下支えする港湾整備について、ご理解を頂ければ幸いです。

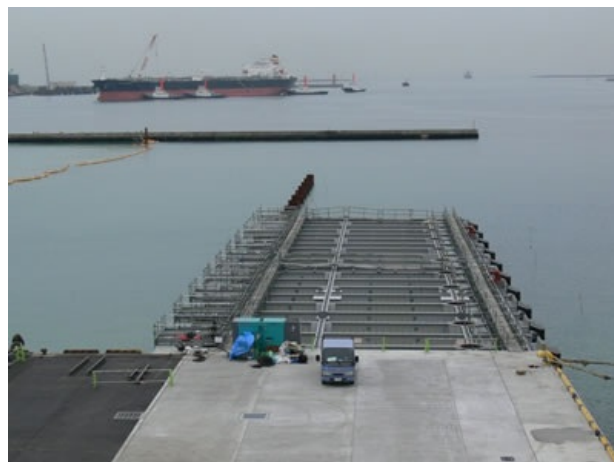
吊り上げを待つ岸壁本体(ジャケット)



起重機船による据付作業



本体据付作業終了



仙台塩釜港 仙台港区 中野地区 国際物流ターミナル整備事業(水深14m)

がんばあう11東北

事業概要画像

事業効果：国際物流拠点の整備が可能となり、効率的な輸送を確保
・中野地区の活性化が期待され、地域の物産化と利便性が向上

【国 旗】
視界を減らし、視力を
回復して入港

【防波壁】
防波壁の設置により、
船舶の安全が確保

※第1号岸壁(水深14m)に於いて利用する船舶運搬船(52,494DWT) 102.7隻

岸壁構造図

高工フロー

アーチ型高層コンクリート構造を採用し、従来の直立式構造と比較して、構造強度を向上

【シャケット架付(イメダジ)】
主要寸法：幅12m (長さ)17.8m (高さ)3.8m
重 量：約 100t/架
架付基礎：8基(37.5m/基 × 8基=300m)

発注者：国土交通省 東北地方整備局
整備期間：平成23～26年度

請負者：若菜・あおみ・大本共同企業体
件名：平成24年度岸壁(-14m)築造工事